

レガシー形成候補(事業名)

戦国最強の武将「上杉謙信公」の魂が眠る戦国最強の山城「春日山城」の復元

地域名

新潟県
上越市

継続・新規の別

新規

レガシー形成の最終着地点

広大な山城の姿を復元することで、貴重な歴史的価値の「保存」と旅行者に感動を与えるための「活用」を推進する。レガシー形成を通じ、これまで地域住民が大切に保全してきた春日山城の姿を後世へ伝承するとともに、地域住民と旅行者とが交わる結節点とする。

形成するレガシーのイメージが伝わるイメージ図、エリア図、写真等を添付してください。



『国指定史跡 春日山城跡保存管理計画書』(平成21年3月)抜粋



春日山城全景

レガシー形成のスケジュール

R4～R5 春日山エリアの計画(上越市)の策定作業の継続、春日山城復元の実現可能性調査、整備手法の検討、レガシー形成に向けたプラン作成 など
R6～ レガシー形成プランに基づく事業実施、観光インフラ整備(トイレ、駐車場等の快適化)、観光拠点施設建設、その他観光コンテンツの造成 など

令和5年度の実施内容

当市の通年観光施策における「春日山エリアの計画」の策定にあたり、下記の取組を想定。
①活用事例調査
②ニーズ調査
③法令調査
④山城復元の整備手法検討
⑤復元に向けた計画策定

独自性、旅行者を惹きつける要因・要素

戦国最強の武将「上杉謙信公」の居城として知られる春日山城(別名:鉢ヶ峰城)。本丸からの遺構が連続する稀有な山城であり、1607年、直江津港近くに福島城が新築されるまでの間、天然の要塞を持つ難攻不落の城とされていた。
史跡そのものの知名度は決して高くないが、特に日本の歴史・文化の“本物”を選好する訪日外国人客には魅力的であると考えます。

想定する連携団体・役割

・地域団体(春日山城跡保存整備促進協議会、義の心の会)
・地域事業者
・上越市
・上越観光コンベンション協会 など
各団体との連携により、地域一丸となってレガシー形成に取り組んでいくことを想定する。

レガシー形成に向けて想定される課題

国史跡指定地であることから、文化財保護法により現状変更が制限されている。事業実施にあたっては、「国指定史跡春日山城跡保存管理計画書」の定め反しないよう、本市文化行政課や文化庁と協議しながら進める。